

EPOCHMAKER

豊島区立男女平等推進センター（エポック10）情報誌

えぽっく・めいか

2013.2 No. 41

～男女共同参画社会実現の拠点として～ エポック10開設20周年



画：大瀧希美

豊島区は、男女共同参画社会の実現に向けて、性別に関係なく区民が集い、出会い、学び、新しい生き方を創造する拠点として、平成4年6月に『男女平等推進センター（エポック10）』を開設しました。

今号は、エポック10の20周年記念号として「エポック10の歩みとこれから」を特集し、エポック10の活動を紹介しています。



Epoch 10
限りない飛躍、可能性

- ◆エポック10のこれから…そして、男女平等推進センターとして…
- ◆エポック10～20年の歩み～／エポック10出版本の紹介
- ◆エポック10講座エ・ト・セ・ト・ラ
- ◆開設20周年お祝いイベント開催報告／豊島区男女共同参画都市宣言記念週間講演会のご案内
- ◆エポック10情報（エポック10相談室のご案内／エポック10豆知識）

P2-3
P4-5
P6
P7
P8

エポック10のこれから… そして、男女平等推進センターとして…



～エポック10への期待～

鹿嶋 敬（かしま たかし）さん
（実践女子大学教授・豊島区男女共同参画推進会議会長）

豊島区男女共同参画推進会議の会長になったのが2005年。新聞社を定年退職し、実践女子大学に勤務し始めた年である。それから8年。4期も続けてきたのだから、豊島区とは相性が良かったというべきなのか、迷惑も顧みず長居をしてしまったというべきなのか。長っちは嫌われるのが常だが、それを相殺するくらいの成果を上げたかとなると、これまた自信があるわけではない。

国の男女共同参画会議議員も同じくらい続けていて、その点、国と地方自治体の双方向から男女共同参画を考えることができたという点では「良かった」のである。幸い、豊島区は区長をはじめ事務局、推進会議委員の皆さんも積極的に男女共同参画という問題を考えてくださっている。

国を例に取れば、第3次男女共同参画基本計画に何を盛り込むかについては自民党麻生総理から諮問を受け、答申したのは民主党・菅総理だった。今春からは、自民党が再び政権与党に返り咲いた。政局は時々刻々姿形を変えるが、男女共同参画もそれにつれて変身・変色するわけではない。普遍的なテーマだけに、政局によるブレがある方がおかしいのである。

少子高齢化、生産年齢人口の減少、非正規雇用者の増加、それに伴う非婚組の増加…。これらの問題は男女共同参画の視点を取り込んだ政策抜きには解決しないというのが、男女共同参画社会基本法施行後、14年になる中で痛切に感じる点である。政府は今、労働力不足を見越して「女性活躍推進」のラッパを吹きならしているが、これだって根底に女性労働力の「量的拡大」と同時に、「処遇の質の向上」という視点が欠かせない。

そして後者の視点こそ、“男女共同参画っぽい”領域なのである。性別ではなく、意欲とか能力に基づく均等処遇あってこそその女性活躍推進でなければならないのである。多くの社会的課題に男女共同参画という名の聴診器を当て、解決に導いてゆく。エポック10をはじめとする女性センターは、それくらいの気概でこの、「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」と対峙してほしいのである。

～エポック10利用者からのメッセージ～

20周年の歴史を聞きながらあらためてエポック10の果たしてきた役割、大切さを実感しました。職員の方もいつもがんばっておられ、みんなでささえて真の男女平等の発展につなげていきましょう！！

いつも川柳句会で使わせていただいています。ありがとうございます！！

婦人係の時、一人の主事さんから始まった女性問題。エポック10ができて20年。何が進んだのかな！！

女性たちの大切な場所として、若い人たちにもっとつなげていきたい、のです。育てて共に活動していける場にしていきましょう。

これからの20年をみつめつつ変化しながら生きのびてください。

20周年おめでとうございます。どの程度活用されるのか判りませんが、一人でも多く区民の方々の交流の場になって知識と行動に広がって欲しいものです。

エポック10開設20周年を祝して、豊島区男女共同参画推進会議会長を長年務めてくださっている鹿嶋敬さん（実践女子大学教授）、エポック10開設当初から法律相談を担当していただいている紙子達子さん（弁護士）、そして、エポック10を中心に活動している方々から、「エポック10へのメッセージ」をいただきました。



～エポック10へのメッセージ～

紙子 達子（かみこ たつこ）さん

（紙子法律事務所 弁護士・エポック10相談室 法律専門相談員）

エポック10の20年は、私自身のあゆみの20年でもあります。

私は、1974年に弁護士として働き始めました。翌年の1975年は国際婦人年であり、メキシコで国際婦人年世界会議が開かれ、世界行動計画が採択された年です。その後国連で「女性差別撤廃条約」が採択されて、「国連婦人の10年」が動き始めました。国内でも遅まきながら、行動計画が策定されて、少しずつ男女の実質的な平等を図る動きが進行しました。

それまで、頭では「男女平等」や「女性の自立」という言葉の意味や尊さを分かっているつもりでしたが、弁護士として一人一人の生活と人権に日々関わる仕事をし、また、自分自身も結婚して家庭を持ち、3人の子どもの育てていく中で、男女が共に人としての尊厳を保って生活し、その人らしく生きていくことがいかに大切で必要であるかをあらためて思い知り、しかしその当然のことが阻害されている社会の現実を実感していました。「豊島区婦人問題懇話会」が設置され、委員の一人として私が参加したのは、ちょうどそんな経験をしつつ、一方では自分の仕事と家庭・子育てに悩んでいた時でした。事件におわれて深夜子どもが眠っている時間に書面を書いて、慌ただしく子どもを学校に送り出す生活で、母親として子どもときちんと向き合っているのか、など自分を責めたり、育児や家事の分担で夫婦喧嘩をしたりしていました。

1985年には「男女雇用機会均等法」が公布され、国連の「女性差別撤廃条約」を日本が批准しました。豊島区でも婦人行動計画が策定され、1992年にその拠点となる男女平等推進センター「エポック10」が開設され、私も及ばずながら専門相談（法律相談）員として関わることになりました。相談者の方々の悩みや訴えを他人事とはいえない問題としてお聞きし、共に解決策を模索してきた20年だったと思います。

ずっと夫の世話や子育てに力を尽くして主婦として頑張ってきたが、夫の不貞があり離婚したい、しかし結婚退職したため現在無職で離婚後の生活不安で決意できない相談者、共働きで自宅も購入して経済的には安定しているが、親や周囲も知らない国家公務員キャリアの夫の夫婦間暴力に悩んでいる「自立」しているはずの女性、自営の長男に嫁いで家業を切り回してきたが、舅や姑の嫌がらせに心身共に痛めつけられている「嫁」の女性、その他たくさんの相談者が抱える問題の改善の方向を共に考えるなかで、私も少しずつ成長してきた20年でした。

これからもエポック10が一人一人の大切な人生をより良くしていく媒体でありますように祈っております。

エポック10の成人式に立ち会えたことをうれしく思っています。ますますのご発展を！！

20周年おめでとうございます。これからもたくさんの方が集う場所でありますように！

いつも利用させていただき、ありがとうございます。20周年というと北京世界女性会議より前ですね。すごいです！！

女性センターが名前を変えていく、それが平等と。本当だろうか。やはり女性センターは必要だ、いつも女性はマイノリティー。

男女共同参画がようやくメインストリームになりつつあると思います。さらなる発展を！

多くの温かいお言葉をありがとうございました

★★ Happy Birthday★★
★★ Epoch 10★★



男女平等推進センター(エポック10)～20年の歩み～

1992年(平成4年) 豊島区男女平等推進センター開設・再就職講座に定員の約4倍の申込み

1992年～1996年(平成4～8年) 豊島区女性史「風の交叉点」第1～4集発行

1994年(平成6年) 「男が語る家族・家庭」(男女平等推進センター編)発行



講座開催中の様子

1995年(平成7年) 国連主催の第4回世界女性会議のNGOフォーラムに視察団が参加。成果の報告会と展示会を開催／「'95女子学生のための就職作戦」(全6回)開催

1998年(平成10年) 豊島区男女共同参画推進懇話会設置

1999年(平成11年) 男女共同参画推進行動計画(仮称)策定委員会設置

2000年(平成12年) 豊島区男女共同参画推進懇話会から「21世紀への提言・男女共同参画社会をめざしてー豊島区男女共同参画推進懇話会提言ー」報告

2001年(平成13年) 「としま男女共同参画推進プラン～豊島区男女共同参画推進行動計画～」策定

2002年(平成14年) 豊島区男女共同参画都市宣言

2003年(平成15年) 豊島区男女共同参画推進条例制定

2005年(平成17年) 男女平等推進センター勤労福祉会館へ移転

2007年(平成19年) 「としま男女共同参画推進プラン～豊島区男女共同参画推進行動計画～」改定／エポック10シネマの開始

2008年(平成20年) ワーク・ライフ・バランスフォーラムの開始

2009年(平成21年) 豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度開始

2010年(平成22年) 女性に対する暴力をなくす運動の強化・メールマガジンの発行開始

2011年(平成23年)

- ◆男女共同参画都市宣言10周年記念講演会『これが男の生きる道?変化の時代をいきる』開催
- ◆男女共同参画都市宣言4か国語(英語、中国語、韓国語、日本語)パンフレット作成
- ◆「としま男女共同参画推進プラン～第3次豊島区男女共同参画推進行動計画及び豊島区配偶者等暴力防止基本計画～」策定
- ◆豊島区配偶者等暴力防止基本計画策定記念『パープルリボンコンサート』開催

2012年(平成24年)

- ◆男女平等推進センター開設20周年
- ◆豊島区制施行80周年記念事業／
男女平等推進センター開設20周年記念事業／
がん検診受診勧奨事業『綾戸智恵 元気が出るトーク&ライブ』開催
- ◆児童虐待&DV防止キャンペーン
- ◆アジア地域セーフコミュニティ会議で「DV予防啓発展示」



エポック10開設20周年「お祝いケーキ」



ワーク・ライフ・バランス推進企業認定書授与式



パープルリボンコンサート



綾戸智恵
元気が出るトーク&ライブ



エポック10の本

エポック10では、区民の女性たちが編集した本や、エポック10で開催したゼミや講演会・トークなどをまとめた本を出版し販売しています。エポック10の窓口でご購入できます。(開館日の9時~17時)



◆豊島区女性史「風の交叉点」 第1~4集◆

豊島区と共に歩み、生きた女性たちがいます。区民女性の歴史を残すために、区民の女性史編集委員が、聞き書き集として『風の交叉点』を編集されました。社会が激しく変わっていく中、男性たちの陰で生きてきた女性たち。豊島区に活動の拠点をおき、女性の生き方に先駆的な役割を果たした女性たち。豊島区的女性問題の歴史的背景を明らかにし、問題解決への取り組みを進めるための一助となる女性史です。

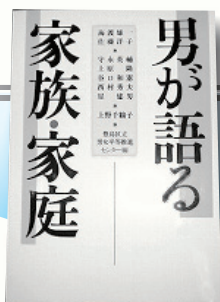


ドメス出版：各1,545円

- ◆第1集「風の交叉点-豊島に生きた女性たち-豊島区児童女性部女性青少年課編」/1992年◆
- ◆第2集「風の交叉点-豊島に生きた女性たち-豊島区立男女平等推進センター編」/1993年◆
- ◆第3集「風の交叉点-豊島に生きた女性たち-豊島区立男女平等推進センター編」/1994年◆
- ◆第4集「風の交叉点-豊島区女性史通史-豊島区立男女平等推進センター編」/1996年◆

◆男が語る家族・家庭◆

1993年10月から連続7回のゼミを開催。テーマは「家族・家庭-男が語る・男イメージをぬけだして」。男性の働き方、家族、結婚、離婚、性、介護、子育て、男の論理など、全7回のゼミの内容をまとめました。男性の真の声がかかれています。(ドメス出版/1994年/1,600円)



◆エポック10トーク・インタビュートーク◆

- ◆セクシャルハラスメント (1993年・500円)
- ◆女性の自立と税金 (1994年・200円)
- ◆夫婦別姓『家族はどう変わる-民法改正を考える』(1996年・300円)
- ◆介護を考える (1997年・300円)
- ◆どう変わる、女の働き方-均等法・労基法の改正を考える- (1998年・300円)
- ◆国際高齢者年に寄せて (1999年・300円)
- ◆北京会議から女性2000年会議へ (2000年・400円)
- ◆女性2000年会議から21世紀へ (2001年・300円)
- ◆日本のナショナルマシーナリー -婦人問題担当室から男女共同参画局へ- (2002年・300円)
- ◆ささえあおう子育てと自分育て (2003年・300円)

※書籍の価格は、すべて税込みです。

エポック10講座エ・ト・セ・ト・ラ

こんな講座を
開催してきました!!

エポック10では、『としま男女共同参画推進プラン』に基づき、年間を通してさまざまな講座を開催しています。広報としま・HP・メルマガ・ちらしなどで開催のご案内をしています。

★豊島区HP <http://www.city.toshima.lg.jp/> ★メルマガ登録：豊島区HPの【メールマガジン登録】から登録できます。（過去5年間の主な講座）

講座事業名	対象	内容
エポック10フェスタ	一般	6月にエポック10が開設されたことや、6月の『男女共同参画週間』に合わせて毎年開催。講座・展示・実演などのイベントをエポック10登録団体や運営委員会と共に数日間開催。（平成5年に「エポック10まつり」の第1回を開催し、平成17年に「男女共同参画週間」に名称を変更。更に親しみやすくなるよう平成21年に「エポック10フェスタ」と名称を変える）
ワーク・ライフ・バランスフォーラム	一般・経営者・人事労務担当者	ワーク・ライフ・バランスの必要性や、考え方、取り組み方に関する講演会や各社の情報交換をする交流会
男女共同参画都市宣言記念週間講演会	一般	平成14年に区議会で採択された豊島区男女共同参画都市宣言を記念し、DVや虐待、性や生き方など人権に関する講演会を開催
中学校でのデートDV予防教室	中学生・学校の先生など	区内中学校の生徒・先生を対象に、デートDVに関して学ぶ機会を提供
デートDV予防啓発講座	一般・若年層	デートDV・DVについて学ぶ講座
女性のための再就職支援セミナー	再就職を考えている女性	結婚や出産で仕事を退職し、再就職を考えている女性を支援する講座
女性の「働く」を考える	女性	コミュニケーション能力の高め方や生き方・働き方を学び、「就職」の現状を踏まえ「働く」ことについて考える講座
託児デビュー	乳幼児をもつ保護者	子育て中の保護者を対象に、子どもと離れ自分のことを考える機会が持てるよう支援する講座
子育て講座	一般・子育て中の保護者	乳幼児のベビーマッサージや、子どもとのコミュニケーション、思春期・青年期に関してなどの講座を開催
エポック10シネマ	一般	映画に登場する人々の生き方、考え方を学ぶ映画上映会
おとなの総合学習	一般	連続講座。ジェンダー、女性学、男性学などを楽しく学ぶ学習会
エンパワーメント講座	一般	平等で公平な社会を実現するために、個人の能力を高めるための講座
エポック10ゼミ	一般	ジェンダー、女性学、男性学、自分史などをテーマに、自ら選んだ本を読んでまとめ、発表し、皆で学ぶゼミナール
コミュニケーション力アップ講座	一般	親子・夫婦・会社など、人間関係を良好に築いていけるようコミュニケーション力を高め、改善する方法を学ぶ講座
創造性開発講座	一般	固定された思考をほぐし、ものの見方、考え方について多角的な視点で日々の暮らしを充実させるヒントを学ぶ講座
男性向け講座	男性	料理、介護、健康、子育てなど男性を対象に開催する講座
中高年向け講座	中高年・一般	古典文学から女性の生き方や考え方を学ぶ講座
青少年向け講座	青少年や保護者・一般	青少年に関わる問題、性やメディアリテラシーなどをテーマとした保護者向けの講座や、小・中高生などに向けた内容の講座
女性のためのからだ講座	女性	毎日を生き生きと生活するために、更年期・乳がんなど女性のからだに起こる症状や病気などを詳しく学ぶ講座
エポック10出張講座	一般	男女共同参画に関する内容の講座を出張して開催
専門相談講座	一般	エポック10の専門相談「法律」「からだ」「こころ」「DV」に関する講座を開催
区民企画運営講座	一般	公募で集まった区民の方が講座を企画し、当日の運営も行う講座
エポック10共催事業（登録団体）	一般	エポック10の登録団体とエポック10が共催でジェンダー、コミュニケーション、子育て、人権、DVなどを学ぶ講座を開催
エポック10共催事業（他課・関係施設）	一般	エポック10と他課、または関係施設との共催でジェンダー、コミュニケーション、子育て、人権、DVなどを学ぶ講座を開催
職務関係者研修	職員・施設関係者など	職員や施設関係者を対象に、DVの予防・啓発、防災と男女共同参画などの研修を開催

エポック10フェスタ2012
輝いて女(ひと)と男(ひと)
つなげよう明日(あす)への一歩



オープニングメインイベント
「エポック10とわたし

～20周年の歴史・これまでとこれから～」

平成24年6月14日(木)、トークゲストに紙子達子さん(法律専門相談員/弁護士)、菊池靖子さん(元学習コーディネーター)、庄司洋子さん(立教大学名誉教授)、田辺鶴瑛さん(講師)、平賀圭子さん(元学習コーディネーター)、深尾凱子さん(元男女平等推進センター所長)【50音順】の6名をお招きしました。エポック10の名称誕生秘話や北京会議への参加、男女共同参画都市宣言を行ったこと、区民の方々と協働するために苦悩した日々など、エポック10との関わりと当時の思い出を語っていただきました。多くの女性たちが今まで活動をしていきたことを、次の世代にどのように繋げていくか、これからの課題を考えさせられた時間でもありました。

豊島区制施行80周年記念事業
男女平等推進センター開設20周年記念事業
がん検診受診勧奨事業



綾戸智恵 元気が出るトーク&ライブ

平成24年9月1日(土)
豊島公会堂にて開催。「豊島区男女共同参画都市宣言」の朗読から始まり、乳がんを経験しつつ、ジャズシンガーとして活躍している綾戸さんのトークとライブで元気をいただきました。会場内は綾戸さんの歌声とお客様の笑い声で溢れていました。



ご案内

豊島区男女共同参画都市宣言記念週間講演会

平成25年 3月16日(土) 午後2時～4時

大地震! その時どうなる?
今やることできること
～目からうろこの防災新常識～



避難所ってどんな状況になるの? どんなことが困るの?
今やるべきことって? 命にかかわるトイレ問題? 男女の視点の重要性って? ……大地震が起こる前の備え、起こってから慌てないために何が重要なのかを一緒に考えます。

講師: 浅野幸子(あさのさちこ)さん
(早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」客員研究員/東日本大震災女性支援ネットワーク・研修プロジェクトコーディネーター)

会場: 勤労福祉会館6階(大会議室)

対象: 一般/100名(参加者にはプレゼントあり)

参加費: 無料

保育あり: 9か月以上未就学児・要予約・定員あり。

共催: 豊島区女性の視点による防災・復興対策検討委員会
申込み: 窓口・電話・FAX・Eメールでお申込みください。
お問合せ・お申込み先: 豊島区男女平等推進センター(エポック10) TEL: 03(5952)9501

◆過去の開催講演会(過去5年間)◆

- 平成23年度3月
「これが男の生きる道? -変化の時代をいきる」
(新編日本のフェミニズム12巻『男性学』)
伊藤公雄氏(社会学者)×上野千鶴子氏(社会学者)
- 平成22年度2月
『幸福の条件』～格差社会の家族・結婚・恋愛事情～
小倉千加子氏(評論家・心理学者)
- 平成21年度2月
「としま・あなたがいる わたしがいる
これがわたしの生きる道」
田部井淳子氏(登山家)/グループ『風の交叉点』
- 平成20年度3月
「水谷修 夜回り先生からのメッセージ
～伝えたい、闇に沈む子どもたちのことを～」
水谷修氏(関西大学客員教授)
- 平成19年度2月
法医学者が語る「男女共同参画社会とは」
～誰もが安心して暮らせる社会を～
佐藤善宣氏(杏林大学医学部 法医学教室教授)

※講師の所属等は講演当時のものです。

エポック10情報

エポック10では、男女共同参画社会の実現に向け、講座、講演会などの開催、情報誌の発行、学習相談、区民や団体の交流の場や機会を提供しています。女性をとりまく問題に関する相談も応じております。どなたでも、お気軽にご利用ください。

エポック10

豆知識



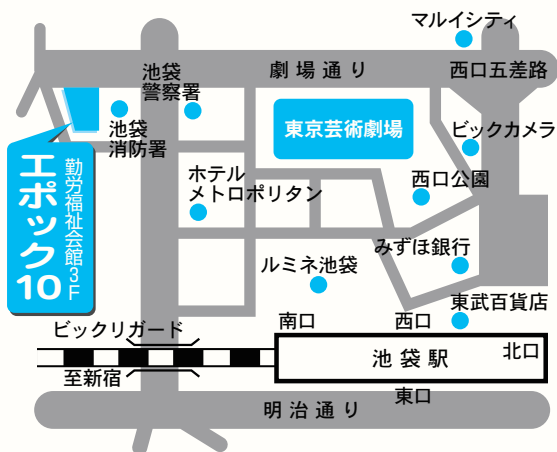
◆◆愛称 エポック10(テン)の由来◆◆

エポックは、Equal Participation Of Community Habitants（地域住民の平等参加）の略で、男女共同参画推進の拠点としての精神を表現しています。また、Epoch（画期的）の意味から、新しい時代を創り出す拠点となる願いが込められています。10（テン）は、開設当時、駅ビルの10階にあったことを由来するものですが、長い間慣れ親しんだ愛称であることと、10は、十人十色の10として、一人ひとりがその人らしく暮らせる社会づくりを目指す男女共同参画の理念にも沿うため、移転後もそのまま使用しています。

◆◆エポック10マークの由来◆◆



限りない飛躍、可能性を形で表現しました。コバルトブルーの色は、生命の源、女性をイメージした海を意味しています。



<発行>豊島区

<印刷>神谷印刷株式会社

エポック10相談室



TEL: 03(3980)7830直通

- ◆一般相談は、月～土曜日の午前9時～午後5時です。
- ◆専門相談は、女性の「弁護士・医師・臨床心理士・カウンセラー」が相談に応じます。（すべて予約制。DV相談に限り、相談日当日でも予約を受付ます。）
- ◆一般相談・専門相談とも無料です。

相談名	曜日	時間
法律①	第1金曜日	午後1時30分～4時30分
法律②	第3金曜日	午後6時～9時
からだ	第2金曜日	午後5時～8時 ※ただし、平成25年2月～3月は、第3日曜日 午後5時～8時
こころ①	第2水曜日	午後1時30分～4時30分
こころ②	第4火曜日	午後6時～9時
D V ①	第1水曜日	午後6時～9時
D V ②	第3水曜日	午後1時～4時

豊島区立男女平等推進センター (エポック10)

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4

勤労福祉会館3階

TEL : 03 (5952) 9501 FAX : 03 (5391) 1015

Eメール : A0029117@city.toshima.lg.jp

◆◆開館時間◆◆

- ・月～土曜日：午前9時～午後9時
- ・毎月最終月曜日の前日(日曜日)：午前9時～午後5時
- ※ただし、毎月最終月曜日・祝日は休館です。

◆◆エポック10 ホームページ◆◆

豊島区公式ホーム・ページ ⇒ 生活ガイド ⇒ 【男女共同参画】
<http://www.city.toshima.lg.jp/jinken/danjokyodo/index.html>

◆◆エポック10 メルマガ登録◆◆

豊島区公式ホーム・ページ ⇒ メールマガジン登録募集 ⇒
 エポックニュース ⇒ 【配信をご希望のかた】から登録できます
 豊島区HP <http://www.city.toshima.lg.jp/>

※この印刷物は再生紙を使用しています